

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第2回公立宍粟総合病院運営協議会	
開催日時	令和5年7月4日（火）14時00分～16時10分	
開催場所	公立宍粟総合病院 講堂	
議長（委員長・会長） 氏名	谷田 一久	
委員氏名	（出席者） 野村和男、小林憲夫、山岸洋之 味木和喜子、渋谷正孝、中尾美恵子 有元靖代、谷田一久、紀野恭徳 佐竹信祐、桑山雅行、湯浅貞稔 菅原誠、立花ひとみ、竹井千里	（欠席者）
事務局氏名	事務局：宮本次長、船曳次長、村上次長、鳥居課長、谷本副課長 宮崎係長、松下係長、前高主事	
傍 聴 人 数	5人	
会議の公開・非公開の 区分及び非公開の 理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決定事項	（議題及び決定事項） ・会議の傍聴及び議事録の公開について ・「公立宍粟総合病院経営強化プラン（案）」について ・「公立宍粟総合病院経営強化プラン」策定スケジュールについて	
会議経過	別紙のとおり	
会議資料等	別紙のとおり	
議事録の確認	（委員長等） _____ 谷田 一久 _____	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局	■開会
会長	■会長あいさつ みなさん、こんにちは。お暑い中ご出席いただきまして、ありがとうございます。 今日は病院経営の強化プランのたたき台のたたき台のようなことです。私はいろいろな病院に関わっていますが、まだこういう形にもなっていないところが結構あります。そういうことでは、頑張られたんじゃないかと思います。今日も皆さん方のご意見を頂戴して経営強化プラン策定に役立てていただきたいと思ひますし、何より良い病院になっていただきたいと思ひますので、ぜひ活発なご意見ご質問を頂戴したいと思ひますので、よろしくお願ひします。
院長	■病院長あいさつ みなさん大変お忙しいところ公立宍粟総合病院運営協議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。 今回の経営強化プランの作成の趣旨につきましては、私は大きく分けて2つあると思ひます。1つは、公立病院が果たすべき役割を明確にしてそれを実現するためにはどうすればいいかということを考えることとあります。我々宍粟総合病院が地域で果たすべき役割というのは、地域の皆さんが病気になられたときに安心して地元の病院にかかっていただけのように我々がしっかりと丁寧に対応できる力を持つこと。当たり前のようなことではありますが、それが出来るようになることがこれから先も大事なことで、努力が必要なことでありますので病院を上げて実現に向けて頑張っていきたいと考えております。もう一つは、公立病院がこれからも存続できるように健全な経営状況を保てるようにすることとあります。この経営健全化につきましては、この十年間、当院は地域医療構想に沿うような形でいろいろと取り組んでまいりました。それによって一時期の苦境から脱却し一定の成果を上げてこられたと思ひます。これからはそれを基にして今後も更に安定した経営が出来るように努力していきたいと思ひております。 当院は地政学的に見ても他に類をみない地域でありまして、統合再編という常套手段を用いることができない地域、そして広大な面積をもつ宍粟地域を含めた地域を我々小病院ではありますが、そこの医療を支えていかなければならない任務があると思ひております。そのような覚悟でこれから先頑張っていきたいと思ひますので、何卒皆さん今後ともご指導ご支援いただきますようよろしくお願ひいたします。
事務局	■新委員の紹介（2名） 昨年、委員の皆さんにお渡ししました委嘱状の終期を令和5年10月31日までとさせていただいておりましたが、経営強化プラン策定までに変更させていただきますと思ひます。 (質問・意見等なし)

会長	<p>■基調講義 ～経営強化プラン策定に係る考え方～</p> <p>お手元に資料を配らせていただいております。なぜこれをこの場でしたいかという、議論のベースを作っておきたいと思いました。ベースになる考え方を知っておいていただいて、いろいろと意見を頂戴したいなと思えます。</p>
会長	<p>■協議事項（会長の進行）</p>
事務局	<p>1)「公立宍粟総合病院経営強化プラン（案）」について説明【資料②】 (P1～P23)</p>
会長	<p>説明に対する質疑等ありませんか。</p> <p>では私から。人口推計を信じるんですか。経済学の中では唯一当たるのが人口推計と言われていまして、他の将来予測はほとんど当たりません。人口は当たる。ただそれは国レベルの話です。明石市や千葉県のだこかの市は増えています。そのまま受け入れることが良いのかどうか。国が出しているからしょうがないのかと。国は自治体レベルで出していましたか。患者推計は出していましたか。患者推計はたぶん罹患率か何かを掛け算して算出したと思えますが、それでいいのかという疑問があります。国はこういう数字を出しているという紹介としては良いと思えますが。</p>
事務局	<p>あくまでもこれは試算という形で、他に推計できるものがございませんので、この数値を利用しておりますが、行政的な施策等によっても変わってくるとは考えています。おっしゃられたとおり、人口推計に県の受療率を掛け算して推計患者数を算出しております。</p>
会長	<p>市の施策としては、人口の減少が見込まれている中で、どういう施策を考えておられますか。人口減少を脈々と受け入れるなんてことはないですね。市の総合施策の中では、住みよい町を作って若い人たちに住んでもらえるように、また長く住んでいる方々にとっては、安心できる町づくりをするといったことだと思うんですけども。プランに数値を使うなら、市の掲げる施策との整合性も図ってほしいです。</p>
委員	<p>17ページの第2節の外来患者の状況のところ、患者ニーズに対応する専門外来の充実が求められていると記載しているが、具体的に例えば市外にどういった患者さんが流れているのか、実際外来部門においてどのようなニーズがあるのか教えていただければよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>専門外来は、まずは地域の方々に地域の病院にかかっただきやすくするためのこととあります。我々一般外来の中でも特に循環器、あるいは脳神経、呼吸器といった一般診療の中にも専門性の高い外来があります。これは必ずしも常勤医を招へいするという意味ではありませんが、そういった外来を幅広くこれから取り入れていきたいと考えております。そのためには、専門医の支援</p>

	<p>が必要となってくるので、大学やはり姫さん等と協議していきながら、できるだけ地域の皆さんが地域の病院にかかりやすくするために動いていきたいと考えております。</p>
会長	<p>国保統計を使うのであれば、医師会と協力して地域全体でどういう病院にしていくのかということを考えられたらいいのではないのでしょうか。</p>
委員	<p>専門外来は大切ですけども、一般の外来で賄えるものはそれもしてほしいというのがありますし、先ほど人口推計の話がありましたけど、すごい人口が減っています。たまに議会の様子を見ますけど、人口減少に対する施策の話をしていてもなかなか難しいなど。明石市とかと比べると資源が少なすぎますし、自然しか売りが無い。実際若い人が帰ってきたりしているが、それが人口減少の歯止めに効くかといったら難しい。高齢者が多いので一般的な症例・疾患と違うので、それをちょっと超えた部分を見てもらえるようにしていただけるとありがたい。例えば、昔に比べると脳外科関係が少なくなっていて、それは良いことですが、そういうものをデータ化してもらえればわかると思いますけど、必ずしも専門外来があると外来患者が増えるということではないと思います。それよりは、ちょっとした異変で検査ができる体制にしていきたい。我々開業医は検査の術がないのでそこは総合病院に検査してもらいたい。そして検査の後の専門外来だと思います。そうしていただくと紹介もしやすくなるし、自然と市内患者も増えるんじゃないかと思います。</p>
会長	<p>検査機能の強化というご意見でした。せつかく人口減少という話が出ておりますので、委員ご意見どうでしょうか。</p>
委員	<p>先ほど医師会長からお話があったように、人口減少に対して、いろいろな施策を市も考えておりますが、これと違って効果がある施策は目に見える形ではなかなかお示しすることが難しい状況です。委員がおっしゃられたように民間の医療機関ですとなかなか医療機器を揃えるのも難しいと思います。総合病院は現在も民間の医療機関と連携して検査の受入等の支援をいただいていると思います。今後ともよろしく願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他の委員のご意見お願いします。</p>
委員	<p>人口減について、市も施策を講じていますが、やはり厳しいものがあると感じております。</p> <p>この資料を見た中で1点、検査の機能という点において、人間ドックが現在休止中ということですが、健康な時に検査する仕組みで病院になじんでいただくという方が総合病院の場合は患者が増えるのでは。それが経営の部分にどれほど影響するかはわかりませんが。</p>
会長	<p>人口減少の問題がよく上がりますが、今いる市民が安心できるようにすることが大事なんじゃないかと思います。将来来るか分からない人よりも、今いる</p>

<p>委員</p>	<p>市民がいるわけですから、その人たちにとって住みよい町の条件としての総合病院運営会議にしたいと思います。</p> <p>委員から人間ドックについてのお話がありましたが、コロナの影響により現在は休止中です。この3年余り休止しておりましたが、5月8日から感染症の位置づけが5類に引き下げされたことに伴い、そろそろ従来の総合病院の付帯事業を復活させようかという話を内部で議論しております。特に人間ドックにおいては再開の要望が頻回に耳に入ってきておりますので、早期再開という方向性で議論している状況です。ただ、コロナの第9波という話もあり、感染者増やクラスターの発生が懸念材料になっております。一方で極端に腰が引けすぎると、院外の皆さんの多様なニーズにお応えできないというジレンマもありますので、そういったしがらみの中でタイミングを見計らっている状況です。</p> <p>付帯事業の再開は財政的な貢献度もありますし、ニーズに応えるという面もありますので、その両面から前向きにタイミングを見ているという状況です。</p>
<p>委員</p>	<p>タイミングを見てというのがよく分からないです。やはりニーズがあるのであれば再開したらいいと思いますし、第9波がどうこうというのは違うんじゃないかと思います。</p> <p>これは言おうか迷ったんですけど、会長の講義の中で、公立病院のコロナ対応の話がありましたが、本当に耳が痛いような話でした。全国的には公立病院の対応はそうだったかもしれませんが、第3波の際に宍粟市内でクラスターがたくさん発生しました。それが11月の終わり頃です。我々医師会としても4月5月の段階から宍粟市に入ってくるかもしれないので対策を取らないとという話をしておりました。6月の役員会の際に「もし宍粟市内でクラスターが発生したら総合病院はどうされますか。対応していただけますか。」と質問しました。その際は対応しますという回答でした。しかし蓋を開けると、発熱外来は10月から始めるので「総合病院も手伝ってください」という話をしたら、「若い奴にはさせられない。院長、副院長が出ます。」ということを市長がおられる前で言われました。ところが9月の時点で「院長、副院長にそんなことはさせられない」という話がありました。総合病院は独自でやるので協力できないと言われました。その後11月になってクラスターが発生し、県から私に連絡があり、「宍粟市内でこんなに発生しているんだから何とかしろ」と言われまして、院長と直接話をしたんですけども、「ここは周産期や透析もあるので難しい。」「市内がこのような状況なので何とか協力してほしい。」といってもなかなか協力してもらえませんでした。11月末になってやっと協力してもらえるようになった。</p> <p>ひょっとしたらダメかもしれないではなく、やらないといけないことはやらないといけない。それが公立病院の役目だと思います。厳しいことを言いますが、もっと厳しい先生もいます。県の方からも機会があれば総合病院にそういうふうに言ってくださいと言われております。</p> <p>ここからは余談ですが、今年か去年か、院長が「コロナ病棟を整備してよかったです。」と県庁に報告されたそうです。でも私と県の方は、あの時は困ったなと話をしました。やっぱり公立病院として、見切り発車でもいいと思うん</p>

	<p>です。それがちょっと失敗しても公立病院は市民のためにやっているんだから多少失敗しても大丈夫です。誰も文句言いません。それよりはやらない方が批判が来ます。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。やはりコロナ問題において現実には色々ある中で、閉じた地域ですのでしっかりコミュニケーションをとっていただきたいと思えます。行政や医療提供側からの意見がありましたが、他の委員のご意見はどうでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>我々住民から言いましたら、直接総合病院に行くのは少なく、かかりつけ医に行って、検査などが必要な場合に総合病院を紹介されるのがほとんどなんですけど、総合病院とかかりつけ医との関係をより密にさせていただいて、何かあれば総合病院を紹介するという体制を今まで以上にさせていただきたい。今でもされていると思いますが、かかりつけ医は総合病院を紹介するという流れを強化していただけたらと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>私もこの3月に急に足が痛くなって、ちょうど総合病院に検診に来る用事があったので見てもらったんです。その時に内科の先生だったんですが、よく分からないということだったんです。</p> <p>数年前に三方地区から神戸地区に出ていかれたお医者さんがいらっしゃるんですけど、それまで三方地区に通っていた高齢者は神戸地区まで行かなくてはいけないという風になり、ほとんどは通えないので結局みんな施設に入ることになってしまいます。昨年から三方地区に一宮北診療所が開設され週3日は総合病院から医者が来てくれているのでそれだけでも十分ありがたいが、やはり安心とまではいかない状況です。私もその診療所にお世話になったときに紹介されたのが姫路の赤十字病院だったんです。そこに腕のいい整形外科の先生がいるからとのことでした。ほんとに腕のいい先生は、他の先生が分からなかった私の足の痛みの原因も、ちょっと見ただけですぐ原因を見つけてくれました。総合病院にもそのような整形外科の常勤の先生がいてくれないと老人が多いこの地域では困ります。難しい問題ですが、総合病院、医師会、行政、地域の自治会全員が協力して相談していく必要があると思います。そうすればもっと運営しやすい総合病院になっていくと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。医師会長、住民代表からの意見は経営強化プランを作成する上での前提になる内容だったと思います。本日の議事を10年20年後に見返していただいて、連携の大事さ、地域を支えている医師会の先生方との関係性についてかなり具体的な意見をいただいていますので、お考えいただきたいと思えます。</p> <p>財務、経営の部分に関して、いかがでしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>仕事上、財務の面は気になるんですけども、23ページの経営課題について、第2節に健全な収支確保とありますけども、これの上に第1節として、人材の安定確保を掲げられています。やはり健全な収支確保のためには人材の安定確</p>

会長	<p>保が前提になるだろうという解釈をしました。運営がうまくいく、いかないというのは職員の確保にかかっていると言っていいと思います。ただ仕事上、宍粟市の色々な企業様を見る中で、この地域で人材を確保するという事は並大抵のことじゃないと肌で感じています。ぜひ、長期にわたる職員採用計画を頑張ってください、人材確保に努めていただきたいと思います。</p> <p>人材の安定確保については記載されている内容でよろしいということでしょうか。</p>
委員	<p>ここにも書いてありますけど、これまでの方法だけではダメだと、長期にわたる採用活動が必要だということですが、ここに書かれている長期にわたる採用活動が何を指しているのかは分かりませんが、人材の安定確保については正しい考え方だと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p>
委員	<p>冒頭からのお話ですけども、色々こういったプランに携わってきましたけども、人口の問題は一つの統計を使うしかないと思います。明石市のお話もありましたけども、確かに明石市は子育てを充実させて人口も増えていますけど、それは神戸市が隣にあり、そこからの流入が大きいです。仮に宍粟市が財源を使って同様の施策をしても、周りから人を引っ張ってくるのは難しいと思います。ただ、人口がそのまま減少するのを待っていただけませんので、どこかでくい止めないといけないと思います。整形外科医、麻酔科医の確保はさきほどの委員からのお話にもありました住民からのニーズに応えるように、また周産期医療はこのまま維持し、病院として人口減を止めていく役割を持っていると思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。病院側のご意見は最後に何うということ、ここまでの話し合いの中で何かご意見ある方いらっしゃいますでしょうか。なければ先に進めてよろしいでしょうか。では後半の説明を事務局からしていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>2)「公立宍粟総合病院経営強化プラン(案)」について説明【資料②】 (P24～P40)</p>
会長	<p>数字がまだ入っていないので、その面での評価、話し合いはできませんが、考え方や目の付け所といった面でのご意見等ございましたらお願いいたします。</p> <p>では私から。26ページの一般会計負担の考え方について、市と総合病院の関係の中で、地方交付税についても言及しておく必要があると思います。公立病院というのは地方交付税の交付対象となっており、病院があることで政府からお金が入ってくる流れが来ています。そういった部分についての記載があっ</p>

	<p>た方がいいと思います。</p>
委員	<p>ありがとうございます。現在は繰入についてのみの記載なので、交付税についても記載したいと思います。</p>
会長	<p>もう一点。34 ページのデジタル化への対応についてですが、しっかりとした目的が示されていないと失敗します。ただ適当な目的でみんながデジタル化と言っているからというような感じだと絶対に失敗します。何の為のデジタル化か、何を目指しているのかというのを明確に示さないと、今のような書きぶりだと失敗しますよ。誰が何のためにやるのかというのをしっかり明記していただきたいと思います。</p>
委員	<p>私は、総合病院の先生方には感謝しています。最近は紹介患者を受け入れていただいたり救急の受け入れ等頑張っていると思いますので、それだけでも十分経営状況も変わってくると思います。</p> <p>最近の何かの会議で話があったと思いますども、宍粟市民の入院患者数市外も含めて、その総合病院の入院患者数が3～4割で外来患者も同様ということだったと思いますけども、その残りの市外に流れている患者を総合病院で対応するだけでもかなり良くなると思います。そういった点を中心に考えていただきたいなと思います。</p> <p>これもまた余談ですが、私も最近総合病院にお世話になりました。救急車で運ばれて入院することになりました。職員の方は非常に一生懸命仕事をされていますし、先生方に関しても抜群にいい印象でした。初日はICUに入りました。翌日以降は個室に入れていただき、担当の先生も良かったですし、他の先生も挨拶していただきましたし、非常に良かったと思います。ただやはり施設に関しては建て替えが必要だと思いました。それはどんどん進めてもらったらと思います。新しい病院に関しては色々あると思いますが、それは置いておいて。</p> <p>人材確保等についてですが、やっぱり総合病院の先生方は非常に忙しいと思います。この間も院長が「スタッフ全員が120%の力で頑張っています。」とおっしゃられていました。実際にそうだと思います。しかし今後働き方改革を進めないといけない中で、120%で働いたらだめだと。もっと効率よく働かないとだめですよとお伝えしました。この会議中も先生方の電話がよく鳴っています。前回の会議でも電話がよく鳴っていましたし、それほど忙しいんだと思います。前回の会議で副院長がおっしゃられたように、若手と高齢な先生はたくさんいるが、中堅がないので、高齢の先生方に負担が多くなっているのかなと思います。この問題に関してはなかなか難しいのかなとも思います。ただ業務の効率化はしていかないといけないと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。では順にご意見をお願いします。</p>
委員	<p>やはりこの地域だと、はり姫等や地域のかかりつけの先生方と連携しながら、市民ができる限り安心して市内の中で診れる体制を進めていくことが大事だと思います。そういう視点から、24 ページの第2節か第3節のどちらに書き</p>

	<p>加えるかは置いといて、もう少し書き加えていただきたい事項を申し上げます。へき地拠点病院として、診療所が乏しい地域における医療の確保については明記していただきたいです。あとは、佐竹院長がおっしゃっておられる総合診療医の育成についてもそうですし、かかりつけ医との連携は記載していただいています。今後は在宅医療などとの多職種連携を進めていくうえにおいて、総合病院には歯科がないので、歯科医師会との連携を意識づけしていただきたいと思います。これらを踏まえ、地域連携室の機能をさらに強化していくという視点があってもいいのかなと思います。加えて、二次救急の受け入れをしていきますと記載されていますが、この病院で受け入れられなかった患者がどこに行き、どうなったかの解析をしっかりとっていくというのを明記していただければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。たくさんご意見を頂きました。</p>
<p>委員</p>	<p>27ページの住民の理解のための取組について、広報やホームページを利用して周知していくと書いていますが、今特に問題となっている総合病院の新築移転について、一部の方から、いったん立ち止まって計画の見直しを求めて署名活動が行われています。総合病院の現状や新病院建て替えの必要性といった住民への説明が不十分なためにこのようなことになっているんじゃないかと思います。今は総合病院があることが当たり前になっていて、現状で何が問題なのかと思われているかもしれない。建物も古くなって、手狭で色々支障が出てきている状態でどうしても建て替えが必要であるということをもっと住民に周知する必要があると思います。説明や周知が不十分な状態で、莫大な費用で新病院を建てるということに対して、将来の若者への負担が大きくなるなどの理由で、計画を見直せといった反対署名活動が行われています。もし本当に見直しをするということになった場合、今までかなりの時間をかけて計画し、ようやく建てるということまでできているのに、また初めからとなってしまうと、現状の病院ではそれまで耐えきれないんじゃないかと、ちゃんとした地域医療ができないんじゃないかと思っています。いったん立ち止まるのはいかなものかと危惧していますが、それでもそういう意見の方がいらっしゃって、署名活動まで行われているというのは、やはり説明や周知不足が招いた結果だということをもっと認識していただいて、現状はこういう状況で、どうしても新病院が必要であるということをもっと住民に声高に広報してもらえばいいと思います。反対署名されている方々も、総合病院をなくしてしまえということではなく、総合病院が必要であるということは認識されていると思います。多くの費用が掛かることに対して見直せということなんだと思いますが、多くの費用が掛かっても今やっておかないと、将来の若者から、何であの時やっとかんかったんだと、今から建て替えなんかもっと大変だと、その方がかえって後悔することになるんじゃないかと思っています。なんとか新病院建て替えが必要なんだと、今反対されている方々に理解してもらえよう説明や周知をしていただきたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。住民へ熱のこもった実効性のある直接的に理解を求</p>

	<p>める場を設けることが必要だと思います。</p>
委員	<p>今、委員が言われた通りだと思います。総合病院の先生方が住民へ働きかけるのではなく、行政が主体で動いていかないといけないと思います。</p>
委員	<p>先ほど委員から、周知不足が署名活動に繋がっているというご意見がございましたが、その流れで 36 ページの経営指標に係る数値目標について、開院予定から 7 年間は建物の減価償却等により赤字なるがそれ以降に関しては黒字になるように取り組んでいくと書かれています。もちろん理解できますが、例えば市民がこれだけを見たら大きな赤字じゃないか、そうなれば税金で補填されるんじゃないかと実際には減価償却の赤字ですからそうではないのですが誤解を招きかねないと思いますので、この辺についても住民にしっかり説明していただいて、それに対して良い悪いは個人の判断になると思いますが、ただ説明は十分に尽くす必要があると思います。</p>
会長	<p>市民の皆さんの負担が実際どれくらいなのか、交付税だけでやっている分には問題ないですが、その辺の説明も市民に対してしっかりしていただきたいと思います。</p>
委員	<p>市も病院と一緒にこれまで広報や説明会などをしてきましたが、うまく伝えられてない、伝わってない、伝わったことが全てという考え方もありますので、引き続きどういったかたちで知っていただけるか考えていきたいと思えます。</p>
会長	<p>ありがとうございます。西脇市や丹波市では小児医療を守る会があり、お母さんたちがもの凄い勉強をされています。勉強することによって、小児科の便利遣いをしなくなったようです。住民の皆さんと一緒に勉強する機会を作ったわけです。行政側から住民に知識を押し付けるわけではなく、地域を守っていくために一緒に勉強しましょうということです。西脇市ではそこからおじいちゃんおばあちゃんにまで波及して、町の医療にどう関わっていくか考えるようになったようです。一緒に市民の皆さんと勉強する機会を設けられたらどうかと思います。</p>
委員	<p>地域医療の推進における地域包括ケアとよく言いますが、単に医療にとどまらず、疾病予防のための健康づくりであったり、在宅ケア、リハビリテーション、福祉介護サービスの全てを包含する生活を視野に入れた全人的医療と捉えていると思います。急性期の医療が終了した後、そこで終わりではなく、福祉や介護と連携、あるいは再発予防を行っていくなど、行政と医療従事者や介護従事者そして地域住民が三位一体となった取り組みのマネジメントサイクルが重要だと思います。今後も在宅療養や在宅介護のニーズが増える傾向にある中、行政、医療従事者、介護従事者、地域住民が一体となって地域医療を支えていくことが重要で、行政が医療を一方的に進められないので、関係者のまとまった合意の元、協力体制を確保し、実践することが難しい場合もありますが、</p>

	現状を踏まえながら、できる範囲の最大限の医療体制の確保が必要だと考えます。
会長	地域住民にもぜひ参加してほしいというご意見ですね。まさに民主主義の病院ですから、そういったベースの考え方を実現していただきたいと思います。
委員	資料の中で違和感を感じた点について、24 ページの新病院での病床数についての記載がありますが、25 ページの、第3節の具体的な取り組み内容で、急性期についての記載はありますが、重要な回復期について具体的な説明が薄いと感じます。
会長	ありがとうございます。これまでの委員からの意見を踏まえて病院側からお願いいたします。
委員	特に今年に入ってから在宅で看取りたい患者さんや、通院が困難な患者さん、生活困窮により治療が受けられない方がかなり増えてきている印象です。そういった方たちを地域でサポートしていくという点で、当院は訪問診療を先生方に積極的に行っていただいております。もちろん当院だけではサポートしきれませんので、地域の訪問看護師さんや行政、開業医の先生方にご協力していただきながらやっています。このような患者さんがこの先もどんどん増えていくと思います。その時に当院がどこまで対応できるかが課題と考えています。
会長	在宅での看取りというのは、地域全体として非常に重要なことです。住民に選択肢を確保するという点です。住民にとっても非常に大事なことに取り組まれていると思います。
委員	17 ページの患者ニーズに対応する専門外来の充実という点で、院長から医者の立場的に循環器、脳神経、呼吸器の充実を図りたいと話がありましたが、看護部の立場からは、ストーマ外来、フットケア外来、助産室の相談等のニーズが高まっているので、力を入れていきたいですが、色んな専門の診療科が増えてきているので看護師の人材確保が追いついていないので、宍粟市の方が当院で働いてもらえるように、看護学生の積極的な実習であったり、トライやるウィーク、学校訪問等を積極的に行い情報収集し、当院で取り入れられることは取り入れるよう頑張っています。新病院に向けては、看護部も基本計画の段階から介入し、よりよい病院にできるようにしていきたいと思います。
会長	例えば、開業医に勤めている看護師さんがストーマについて勉強したいといったときに一緒に勉強するといった交流はされていますか。
委員	勉強会はされているようですが、開業医に勤めている看護師さんの参加は少ないんじゃないかと思います。
委員	年に4回ほど行政と開業医の看護師さんと地域の介護施設が参加する地域

	看護連絡会を開催し意見交換をしています。
委員	開業医の看護師さんや地域の介護施設からの出席率はどうですか。
委員	30人ほどの募集定員で毎回30人前後の参加がありますが、会のテーマや内容によって参加の人数に差はあります。その後意見交換しております。地域連携室に訪問するときは、ケアマネや看護職員と当院との交流はあります。
委員	医師会や歯科医師会、薬剤師会は交流がありますが、看護師会の所属率はどんな感じなのかと思います。もっと情報を流していただければ、勉強した人はいますので参加も増えると思います。時々見かける程度で、あまり情報が流れてきているイメージがないです。
委員	市の保健師から開業医、施設に案内をしてもらっています。開催は基本的に参加しやすい木曜日になっています。
会長	市内の同じ専門職の方々の関わりをさらに強くしていただければと思います。
委員	委員からありました、住民への説明不足という点に関して、おっしゃられていることは十分に理解しています。当然のことながら我々病院は単体ではなく市と一緒にあって、市の広報誌、各地で合計4回の市民説明会、パブリックコメント等々、一般的に行政が展開することはやらせていただきました。市の広報誌で特集を組んで、文字上ですがかなり細かい説明もさせていただきました。住民の理解も進んでいる一方、周知はしていますが、お目通しされていない方もいらっしゃるかもしれませんし、お目通しはされているけど理解には至っていない方もいらっしゃると思います。そのあたりに関しては我々と温度差があるなどは実感しています。ただ、これまでも市議会での予算の議決も踏まえながら、住民代表である議員の先生方の理解も得て、正しい道筋で今日まで至ってきておりますので、手を抜いたとかイレギュラーな方法を取ったということではありませんので、万策尽きたという感じではありますが、諦めずに、引き続き広報であったり、市長とも連携しどうすれば住民の理解を深められるかを考え進めていきたいと思っています。
会長	ありがとうございます。より住民の理解を得られるようにしていただきたいと思っています。
委員	色々ご意見賜りまして、改めて非常に勉強になりました。病院に勤めている私としては、昔に比べ、養成医等の若い人が増え活力があると思います。新病院に向けて、非常に期待できるなと思っております。総合病院はますます良くなっていくと思いますのでよろしく願いいたします。
委員	貴重なご意見ありがとうございます。コロナ病棟立ち上げの際の厳しいご意

	<p>見を頂いたのは承知しておりますが、いったん方向が決まると、医者はもちろんのこと、看護部、コメディカル、事務部が一丸となって公立病院の職員であると理解し頑張ったという経緯があります。その職員があつての病院であらねばならないと思います。もちろん市民のための病院ではありますが、まず職員を大事にしていくことが必要と思っております。人材確保が難しいという問題がありますが、少なくとも今いる職員がこの病院で働き続けたいと思えるような環境を作っていくのも大事だと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>皆様から多くのご意見を頂きました。それを還元してより実効性のある経営強化プランにさせていただきたいと思っております。それでは今後のスケジュールについて事務局からお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料の3の公立宍粟総合病院経営強化プランの策定スケジュール案をご覧ください。最終的に令和6年の2月から3月頃に公表したいと考えております。それまでの間に運営協議会の第3回、第4回の2回開催したいと考えております。第3回の運営協議会の開催時期については、龍野の保健福祉事務所で8月に開催される地域協議会の内容を反映させることから、9月の市議会の日程等も考慮し、9月の下旬から10月の中旬あたりに開催したいと考えております。その後、第3回の運営協議会でいただいた案を事務局に一任していただき、さらに議会の意見等を反映し、12月にパブリックコメントを実施し、市民の皆様のご意見を聞かせていただきたいと思いますと考えております。第4回の運営協議会については、パブリックコメント実施から概ね1カ月程の期間が必要ですので、パブリックコメントの意見を反映し令和6年の1月頃に開催し、最終的な案を報告したいと考えております。全体的なスケジュールについては以上です。</p>
<p>会長</p>	<p>では、私が担当する協議事項は以上で終了したいと思っておりますが、最後に委員からご意見をお願いいたします。</p>
<p>委員</p>	<p>大変長い間、皆さんありがとうございました。貴重なご意見を頂き私も深く考えさせられることもございました。皆さんからいただいたご意見を必ず経営強化プランに反映させていけるように引き続き頑張ります。私が冒頭に申し上げた当院の役割については、地域の皆さんに安心してかかってもらえる病院にするということでした。まさに先ほど医師会長からご指摘を頂きましたが全くその通りでございます。市民の皆さんが病気になって地域の病院で安心して診てもらえる環境を作ることが一番大事だと思います。専門外来についての記載はありますが、患者さんを受け入れるにあたって、どうしても補完しなければいけないピンポイントな部分を埋められるように専門外来が必要ということです。それは病院としても役に立ちますし、患者さんからしてもそのピンポイントな部分のためにわざわざ姫路まで行かなければならないということも避けられます。もちろん姫路の高度医療でしか対応できない場合は仕方ないですが、そうじゃないのに姫路まで行ってもらうのはどうなのかという点での補完を指しております。この西播磨地域の患者の流出はずっと昔から続いておりま</p>

	<p>す。これはマンパワーや個々の医者のカパシティの問題によるところもあるので、普通に患者さんを普通に診察できる能力を持っておれば、患者の流出を防ぐことができると思っております。一時期最悪の経営状況であったところからこの数年間で脱却できたのは、特別なことをしたわけではありません。患者さんを一人一人丁寧に診る姿勢を強化しました。その陰には県からの支援もあり、養成医に多く来ていただき診療体制が整ったからできました。普通の病気を普通に診ることができるようになり、経営の窮地から脱却できたことは自信にもなっておりますので、これから将来に向けての新病院においても今の姿勢は絶対崩してはいけませんし、さらに進めていかななくてはならないと思っております。</p> <p>あと、ご指摘いただいた総合診療医の育成については、当院だけでなくへき地拠点病院のネットワークを通じて県の養成医を総合診療の専門医として育成していくということです。丹波医療センターを基幹病院とするシステムも組まれておりますし、実際当院の養成医も何人か専門医の資格を取得しました。これから目指そうという医師もおりますので、へき地拠点病院には必ず総合診療の専門医や指導医がいて、若手を指導できる体制をへき地拠点病院全体で作っていく必要があると思っております。</p> <p>また、新病院建設に関する説明や周知不足については、私としては申し訳なささと残念さがあります。自分なりに努力してやってきたつもりです。基本構想の時に4地区、基本設計の時に4地区と計8回私も説明に回りました。市民の生の声を聞いて答えたつもりではいりましたが、残念ながらそれでもなかなか理解していただけない現実もあるのかなと思っておりました。ただ残念だったのが、議論の大半がお金に関する事で、私としてはこれまでの病院や現状、これからのことを申し上げたかったのですが、あまりそういうことに関しては質問が来ない状況でした。まだ今からでも遅くないのであれば、市民の皆さんにご理解していただけるように、できるだけ情報発信していきたいと思っております。長くなりましたが以上です。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>皆さんから貴重なご意見をたくさんいただきましたので、非常に有意義な会になったと思っております。ありがとうございました。以上で議事は終了しましたので事務局にお返しします。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございました。それでは次回の開催についてですが正式に日程が決まりましたら、ご連絡をさせていただきますので、よろしく願いいたします。なお、冒頭に申し上げた通り、会議録につきましては資料と併せて当院のホームページに公表させていただきますのでご了承の程よろしくお願いいたします。</p> <p>■閉会</p> <p>予定しておりました時間を少々超えてしまいましたが、これをもちまして第2回公立宍粟総合病院運営協議会を閉会させていただきたいと思っております。委員の皆さまには長時間にわたりご意見を頂き本当にありがとうございました。</p>

* 発言者の表記は、「会長」、「委員」、「事務局」とする。